

枕草子 二時間目

清少納言

課題

◎現代語訳を参考に(1)～(3)、(2)、(3)ページ下段作者の好きな時間帯の好きなものや様子を季節ごとくまとめる。

季節	好きな時間帯	好きなものや様子 (「風情がある」「趣深い」「よい」)
(例) 春	明け方	・山ぎわが(少し明るくなって、紫がかった雲が細くたなびいている)のは風情がある。
夏	夜	<ul style="list-style-type: none"> ・(月)が出ている時は言つまでもないほどよい。 ・蛍が(多く飛びかっている)のがよい。 ・蛍が(ほんの一二匹ほのかに光って飛んでいくのも)趣がある。 ・雨が(降っているのも)よい。
秋	夕暮れ	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥が(ねぐらへ行くというので、三、四羽、二、三羽などと飛び急ぐ)ことまでもしみじみとしたものを感じさせる。 ・雁などが(列を作っているのだが、たいそう小さく見えるのは)たいへんおもしろい。おもしろい。 ・日が(すっかり沈んでしまって、風の音、虫の音)などがするもの、これもまた、いようもないほど趣深い。
冬	早朝	<ul style="list-style-type: none"> ・雪が(降っているのは)言つまでもないほどよい。 ・霜が(真っ白) (なものもよい。も)たいそう寒いときに、(火などを急いでおこして、炭をもって廊下などを通して)いくのも(たいへん似つかわしい)。

清少納言は、冬には「好ましくなく」ものを最後に書いています。

昼になって、寒さがだんだん緩んでいくと、(火桶の火が白い灰ばかり)になって、好ましくない。

◎作者はどんなものの見方や捉え方をしているのか、それらを用いた表現(文章の書かれ方)についてまとめる。

- ・それぞれの季節の好きな(嫌いな)時間帯を述べた後に、その時間帯で好きなものや様子を短い文で具体的に述べている。
- ・美しい光景を目に浮かぶように詳しく書いている。
- ・目で見た景色だけでなく、虫の音など聞こえてきたことや、寒さなどのさわった感覚についても表現している。
- ・「紫」「闇」「白」など、色を豊かに描き表している。

例えば・・・

作者は、好きな(嫌いな)ものや様子を述べるとき、どんな順序で説明しているかな？

(例) 作者は、それぞれの季節の()？ (述べたあとに、()？ (述べている。